

鏡野の大正コロコロ噂話

ネット社会の現代では、世界中の様々な情報をリアルタイムで知ることができますが、明治・大正時代は新聞が主な情報収集源でした。当時の新聞は売り上げを伸ばす目的もあって、人々の興味をそそるような見出しや、内容を誇張したような記事も多くみられます。

今回は、山陽新聞の前身である「山陽新報」から、鏡野町の大正時代（一九一〇〜一九二六）の記事をいくつか拾ってみました（地名・数字・文章等の誤りは原文のまま）

① **古柩発掘**（大正元年八月十七日）
美作国苫田郡香々美南村大字香々



《参考》陶棺
明治時代に沢田で発見された時のもの



大野小学校（大正時代）



郷小学校（大正3年）

美作 中略 昔福田玄蕃頭勝正の
掘城たりし升形山の南凡そ十丁余の
山麓 中略 於て石材採掘中
計らずも一個の陶焼柩を發掘した
り 中略 天正年間宇喜多秀家
と福田玄蕃頭勝正との古戦場にして
秀家のために勝正遂に落城し為に福
田の一族茲に戦死したりとあれば、
多分勝正の死骨ならんとの事なり。
※陶焼柩とは、古墳時代後期（六世
紀）の陶棺だと思われませんが、記
事では安土桃山時代（十六世紀後
半）の戦で戦死した枅形城主・福
田勝正（勝昌）の墓と推測されて
います。ちなみに福田勝昌は枅形

城の戦では戦死していません。

② **大鰻を捕ふ**（大正三年九月四日）

美作苫田郡大野村大字貞永寺廣田
鐵造は、中略 八月三十一日
午後四時頃、マチカワと称する網を
以て魚を取つて居る中不思議や一貫
三百目もある大鰻が引つ懸つたので
大喜び。所が之れは頗る珍しい大鰻
といふので、見物人が日々打集うて
いる相なり。

※一貫三百目は約四・九kg。

③ **修学旅行**（大正十二年五月四日）

大野尋常小学校に於ては、四日五
日の両日、池上、大林両訓導引率の
下に奥津村方面へ高等科八十名の修
学旅行を行ひ温泉及び水力電気発電
所の見学をなす。

※「訓導」とは、現代の「教諭」に
あたります。

④ **大蛇を捕獲**

（大正十一年七月十三日）

苫田郡香々美南村大字新町矢野美
喜治外数名の者は去る八日、苫田郡
一宮村大字田邑の山に赴き、胴一尺
長さ一丈余の大蛇を発見、捕獲して
自宅に持ち帰り飼育中であるが、毎
日近郊近在からの見物人が押しかけ
ている。

※一尺は約三〇cm、一丈は約三m。
本場にこれほどの大蛇だったので

しようか。

⑤ **郷校修学旅行**

（大正十一年十一月三日）

郷小学校では、尋常科三日四日の
二日間、高等科三日より五日迄三日
間夫々岡山及び高松方面へ修学旅行
を行ふ。

※③の大野小学校の修学旅行の行程
と大きな差があるところが興味深
いです。

⑥ **還暦で特志寄附**

（大正十四年四月二十二日）

羽出村大字羽出伊丹つるは、本年
還暦祝に相当するので、記念の為め
従来同人の貯金中より八十円を供出
去る十八日村婦人会に五十円、部落
婦人会に三十円、小学校に二十円を
各寄附した。

※大正デモクラシーにおける女性の
社会進出が、山村でも展開されてい
たことがうかがわれます。

以上、鏡野町の歴史として残るよ
うな重大な出来事ではありませんが、
当時の世相や人々の関心をうかがい
知ることができます。

参考：『山陽新報』

鏡野町教育委員会 生涯学習課 日下
電話（0868）5417733